

自宅で働く人のサポーター

SOHOだより

特定非営利活動法人 埼玉SOHO

2009年7月 北本市中央1-141 高松ビル2F

第1号

TEL 048-593-0077

http://www.soho-salon.com

名称を「埼玉SOHO」に変更

6月27日、総会で21年度の事業方針を決定

埼玉ソーホー支援推進協議会は6月27日14時から、北本市中丸公民館集会所で平成21年度総会を開きました。

総会には12人の会員（ほかに委任状提出8人）が出席、鈴木拓雄氏を議長に選任し、①平成20年度事業報告、②平成20年度決算報告・監査報告、③平成21年度事業方針、④平成21年度予算（案）、⑤役員改選、⑥名称変更、⑦その他の事項を話し合いました。

議長を選出しました。

SOHOに販いを

平成20年度の決算は会が始まって以来初めて、20万円弱の赤字決算となりました。これは各プロジェクトの売り上げが伸び悩んだほか、会費収入が減少したことです。

19年度のNPO会員は44人でしたが、20年度は24人と20人の減です。これは事務所を移転してから、会員の拡大や会費納入への働きかけが十分にできなかった点にあります。

これらの反省点をふまえて、市民向けの企画を立てて会員拡大につなげよう、事務所にぎわいを取り戻そう、などの意見が出されました。

新理事に内田紀夫氏

事業報告と計画、会計決算と予算が承認された後、役員改選に入り、小野田裕美理事と山崎淳子理事からの「都合で退任したい」との申し出を承認し、他の8人の理事と監事は留任、内田紀夫氏を新任理事に選出しました。

名称は「埼玉SOHO」

長過ぎると不評だった名称について「以前はローマ字の登記ができなかったが、いまはできるようになった。そこでいまままで略称として使っていた「埼玉SOHO」に変更したい」との提案。パソコン教室などで説明するとき「支援推進」の言葉があるほうが会を説明しやすい、との意見もありましたが、名称変更を承認しました。

会費納入と利用

会員募集のお願い

正会員の皆さまには、平成21年度NPO会費の納入をよろしく願います。

今期から利用会員制度（年会費3600円）が発足しました。利用会員は、SOHOの施設を利用し、正会員からワンポイント・アドバイスを受けたり、企画運営委員会の企画する各種講習会などイベントに参加（割引料金などの特典も？）することができま

す。身近な人に利用会員となつて、一緒に勉強、活動するよう働きかけて下さい。

新たなスタート

通称でありました「埼玉SOHO」を正式名称とするこ

ととし、これを機会に新たなスタートしたいと思います。当NPO法人は、平成13年10月に埼玉県からの認証を得て、その歩みを始めました。そして、皆さまのご協力のお陰で、この5月1日から9年度を数えるにいたりました。願みれば、平成12年に当N

PO法人の前身であります「SOHOクラブ北本」が産声を上げておりますので、北本のSOHOの歴史は10年目を迎えております。

設立から7年間は、北本市商工会との協働事業であります「SOHOサロン」の運営に大きな比重を置いて活動が行われました。SOHO普及の活動が商工会と連携して行

われたいのは、埼玉県はもとより、全国でも初めてのケースであり、社会的に注目された事業と言えます。

1年半を経過しました。時代は世界同時不況の荒波の中にあり、どの組織も少なからず影響を受けております。しかし、このような中、私たちの想いであります「少しでも多

くの人々が、職住接近で働ける社会を創りたい、IT利用を進めることにより、より充実した生活ができる社会を創りたい」に立ち返り、心を新たに積極的な活動を行いたいと思っております。

これまでのご厚誼に感謝するとともに、なお一層のご協力をお願いいたします。

埼玉SOHO

理事長 高橋伸治

理事会で事業強化の方針を論議

総会終了直後に開かれた第1回理事会では、理事長に高橋伸治氏、副理事長に藤井稔、鈴木拓雄両氏の再任を承認。竹村元宏氏留任の声もありましたが、ご本人の強い固辞があり退任を承認しました。

新たに利用会 員制度を発足

7月10日に開かれた第2回理事会では、総会で出された課題を推進するための今後の運営体制を話し合いました。運営全般については、20年度の反省の上にならって、各種

講習会などプロジェクトを発展させるための企画運営委員会（責任者＝小笠原）、組織的に事務を進めるための管理委員会（会員サポート＝藤井、会計処理＝高橋、備品管理＝鹿野）3部門を設置することを確認しました。

また市民サービスも視野に会の裾野を広げるため、定款に基づく会員・賛助会員のほかに、ボランティアで活動されている方、レッスン受講者を対象にした利用会員制度（年会費3600円）を発足させることも決定しました。

企画第1弾 9月12日(土)にオフ会を開催

企画運営委員会を開く

7月17日、初めての企画運営委員会が開かれました。集まったのは、それぞれの分野で活躍されている小笠原さん、小野田さん、加藤さん、矢部さん、山崎さん(50音順)。

会議は、はじめに小笠原さんを委員長に選んだ後、企画運営委員会の目的と役割、運営方法など会の基本的なスタンスを話し合いました。

話し合いの中では、今まで会員相互の情報交換や技術講習会などの取り組みが弱かつ

たことの反省から、ワンコイン・セミナーや異業種交流会など会員間の交流を深めることと同時に、新たなプロジェクトの開発なども進めていくことを確認しました。

会員の要望を聞く

いま何より必要なことは、会員の皆さんのSOHOに対する希望や要望をしっかりと受け止めることです。

そこで企画運営委員会としては、企画第1弾として9月

12日(土)の午後2時からSOHO会議室で「オフ会」を開き、会員の皆さんの「こんな事をしてほしい」「こんな事をしてみたい」という声を聞き、今後の企画に生かしていきたいと考えました。

会員の皆さんが積極的参加され、声を出していただくことを期待しています。その中から、新たな発展の方向を見つけてゆきたいと考えています。

やってみよう

総会で話題になったSOHOの賑いを作り出すには、会員の皆さんの足がSOHOに向かうようにすることではないでしょうか？

パソコン購入についての講習会や中古パソコン購入のサポート、パソコン寺子屋、シニア情報生活アドバイザーを活用しての出張パソコン教室(例・南小の地域活動室)など、市民と結びついた講習会、さらには会員の皆さんが持っているスキルを互いに教えあう勉強会。これらが新たなプロジェクトに結びついていけばと考えています。

老人会と協働でパソコン教室

少子化の時代、小学校の空き教室を有効に活用した取り組みがあります。

そのひとつが南小学校の地域活動室でのパソコン教室。老人会とシニア情報生活アドバイザーが協力して、パソコン初心者を対象にした教室を開催しています。

毎週火、金曜日の午前中、竹村元宏さんを中心にシニア

情報生活アドバイザーの皆さんのサポートで、和気あいあいと楽しみながらパソコンに取り組んでいます。インターネットの環境も整っており、文字入力からメールまで学習内容は広範囲にわたっています。なかには、まったくの初心者だった方がホームページを作れるまでになった、という方もいます。

しかし夏休み中は休校となります。そこで熱心な人のために、夏休み中は、埼玉SOHOで行っています。火、金曜日の10時から正午まで、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

いま、北本市の老人クラブ連合会では、市内の各校にある地域活動室でも、シニア情報生活アドバイザーとタイアップしてパソコン教室を開こうと計画しています。

久々に企画しました！

あなたはSOHOに何を期待しますか？

あなたの希望、要望をお聞かせ下さい

SOHOオフ会

日時 9月12日(土曜日) 14:00~

会場 SOHO会議室(高松ビル2F)